

南海トラフ巨大地震に係る市町村別被害想定について

現 状 等	<p>①京都府における地震被害想定（H20年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府域への影響が懸念される活断層（22断層）による地震及び東南海・南海地震について、地震被害想定調査を実施 ・活断層毎に震度、液状化危険度をGIS上で公開するとともに、人的被害及び建物被害の数量を公表 <p>②東日本大震災以後の地域防災の見直し部会等での議論等（H23年～）</p> <p>(1) 対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ巨大地震については、府内の被害想定は、府内最大と予想される花折断層帯の地震の被害想定を下回っていることから、新たな対策は不要 ・ただし、液状化などについては特有の事情も考慮する必要がある <p>(2) 被害想定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直下型地震については新たな知見がなく、被害想定の見直しは当面不要 ・国による南海トラフ巨大地震の被害想定（H24年度）の公表 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>死者・行方不明者</th> <th>全壊・焼失建物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 国</td> <td>32,000 ～ 323,000 人</td> <td>940,000 ～ 2,386,000 棟</td> </tr> <tr> <td>京都府</td> <td>30 ～ 900 人</td> <td>2,500 ～ 70,000 棟</td> </tr> </tbody> </table> <p>※府における津波被害はなし。 ※都道府県単位での想定までしか示されておらず、国に対して、250mメッシュ単位のデータ提供を要請 →国から液状化危険度のデータ及び市町村単位の被害想定データの提供がある見込み</p>		死者・行方不明者	全壊・焼失建物	全 国	32,000 ～ 323,000 人	940,000 ～ 2,386,000 棟	京都府	30 ～ 900 人	2,500 ～ 70,000 棟
	死者・行方不明者	全壊・焼失建物								
全 国	32,000 ～ 323,000 人	940,000 ～ 2,386,000 棟								
京都府	30 ～ 900 人	2,500 ～ 70,000 棟								



【26年4月14日開催地域防災の見直し部会】

方 針	<p>① 液状化について 国からの提供データを活用</p> <p>② 被害想定について 国からの市町村単位の被害想定データ提供を基に、市町村別被害を算出</p>
--------	--



対 応	<p>このほど、内閣府から250mメッシュではないが、市町村単位のデータ及び液状化危険度のデータの提供があったことから、各委員の了解をいただきながら、府として別添のとおり整理</p>
--------	---

南海トラフ巨大地震 京都府の被害内訳（内閣府公表済み）

・・・最大値

地震動ケース	シーン (季節・時刻)		死者数 (人)					負傷者数 (人)					要救助者 (人)	全壊棟数 (棟)				
	発生時刻	風速	建物倒壊	急傾斜地崩壊	火災	屋外落下物	合計	建物倒壊	急傾斜地崩壊	火災	屋外落下物	合計		揺れ	液状化	急傾斜地崩壊	火災	合計
基本ケース	夏 12時	平均風速	約 20	—	—	約 20	約 40	約 1,300	—	—	約 700	約 2,100	約 100	約 500	約 2,000	—	約 20	約 2,500
		強風	約 20	—	—	約 20	約 40	約 1,300	—	—	約 700	約 2,100	約 100	約 500	約 2,000	—	約 20	約 2,500
	冬 深夜	平均風速	約 30	—	—	—	約 30	約 1,900	—	—	約 40	約 2,000	約 100	約 500	約 2,000	—	約 20	約 2,500
		強風	約 30	—	—	—	約 30	約 1,900	—	—	約 40	約 2,000	約 100	約 500	約 2,000	—	約 20	約 2,500
	冬 18時	平均風速	約 20	—	—	約 40	約 60	約 1,500	—	約 10	約 1,200	約 2,700	約 100	約 500	約 2,000	—	約 100	約 2,600
		強風	約 20	—	—	約 40	約 60	約 1,500	—	約 200	約 1,200	約 3,000	約 100	約 500	約 2,000	—	約 5,100	約 7,600
陸側ケース	夏 12時	平均風速	約 500	—	—	約 50	約 500	約 7,800	—	約 10	約 1,700	約 9,500	約 2,200	約 12,000	約 3,700	約 30	約 200	約 16,000
		強風	約 500	—	約 10	約 50	約 500	約 7,800	—	約 100	約 1,700	約 9,600	約 2,200	約 12,000	約 3,700	約 30	約 2,300	約 18,000
	冬 深夜	平均風速	約 800	—	—	—	約 800	約 12,000	—	約 10	約 100	約 12,000	約 3,000	約 12,000	約 3,700	約 30	約 100	約 16,000
		強風	約 800	—	約 10	—	約 800	約 12,000	—	約 60	約 100	約 12,000	約 3,000	約 12,000	約 3,700	約 30	約 1,100	約 17,000
	冬 18時	平均風速	約 600	—	約 100	約 80	約 800	約 9,100	—	約 2,100	約 2,900	約 14,000	約 2,500	約 12,000	約 3,700	約 30	約 43,000	約 59,000
		強風	約 600	—	約 200	約 80	約 900	約 9,100	—	約 2,700	約 2,900	約 15,000	約 2,500	約 12,000	約 3,700	約 30	約 54,000	約 70,000

※ 強風・・・8m/s

資料：「南海トラフ巨大地震の被害想定について（第一次報告）」
 （中央防災会議 防災対策推進検討会議 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキング）

・基本ケース・・・過去の東海地震、東南海・南海地震の分析を基に震度分布を計算し、被害想定を行ったケース
 ・陸側ケース・・・近年の地震観測の結果、プレート境界の、これまで考えていたよりも陸域側で地震波の発生が観測されるようになり、これらの領域でも強震動を発生する可能性がある。
 この場合、より強い揺れが予測されるため、基本ケースよりも、陸側に強震動の発生を設定し、被害想定を行ったケース

●南海トラフ巨大地震に係る市町村別被害想定

※地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬18時、風速8m/s

※端数処理のため合計が合わないことがある。

	人的被害				建物被害		
	死者数	負傷者数	重傷者数	要救助者数 (自力脱出困難者数)		全壊	焼失
京都市北区	-	300	50	10	1,770	40	1,730
京都市上京区	10	440	110	20	2,810	110	2,700
京都市左京区	10	440	60	30	2,070	390	1,680
京都市中京区	20	760	190	50	3,700	220	3,480
京都市東山区	10	440	110	20	1,600	200	1,400
京都市下京区	20	740	210	50	1,690	230	1,460
京都市南区	40	680	110	140	1,870	760	1,110
京都市右京区	30	900	160	80	6,160	450	5,710
京都市伏見区	270	2,470	460	660	14,340	3,990	10,350
京都市山科区	30	880	150	80	4,310	490	3,820
京都市西京区	50	830	130	140	4,390	760	3,630
京都市(小計)	510	8,890	1,750	1,280	44,710	7,630	37,080
向日市	40	590	120	110	3,320	510	2,810
長岡京市	30	600	100	110	1,480	510	970
大山崎町	-	80	10	30	190	110	80
宇治市	90	1,590	320	320	8,030	1,370	6,660
城陽市	70	910	150	150	7,010	980	6,030
久御山町	10	230	30	70	520	320	200
八幡市	20	340	40	110	930	480	450
京田辺市	20	290	40	100	660	580	80
井手町	10	90	10	20	150	120	30
宇治田原町	-	30	-	-	30	30	-
木津川市	30	430	40	110	740	720	20
精華町	10	190	20	60	320	280	40
笠置町	-	10	-	-	10	10	-
和束町	-	40	-	-	20	20	-
南山城村	-	40	-	-	40	40	-
山城広域振興局管内	340	5,450	900	1,170	23,450	6,070	17,380
亀岡市	-	170	10	10	80	80	-
南丹市	-	60	-	-	50	50	-
京丹波町	-	10	-	-	-	-	-
南丹広域振興局管内	-	240	10	10	130	130	-
福知山市	-	-	-	-	10	10	-
舞鶴市	-	40	-	-	160	160	-
綾部市	-	10	-	-	20	20	-
中丹広域振興局管内	-	50	-	-	190	190	-
京丹後市	-	-	-	-	510	510	-
宮津市	-	10	-	-	530	530	-
伊根町	-	-	-	-	-	-	-
与謝野町	-	-	-	-	700	700	-
丹後広域振興局管内	-	10	-	-	1,740	1,740	-
府計	860	14,650	2,660	2,470	70,210	15,740	54,470

※被害が軽微な地域については「-」を記載。

H24. 8公表値	約900	約15,000		約2,500	約70,000	約15,730	約54,000
-----------	------	---------	--	--------	---------	---------	---------

●南海トラフ巨大地震に係る市町村別被害想定

※地震動:基本ケース、津波ケース③、冬深夜、風速8m/s

※端数処理のため合計が合わないことがある。

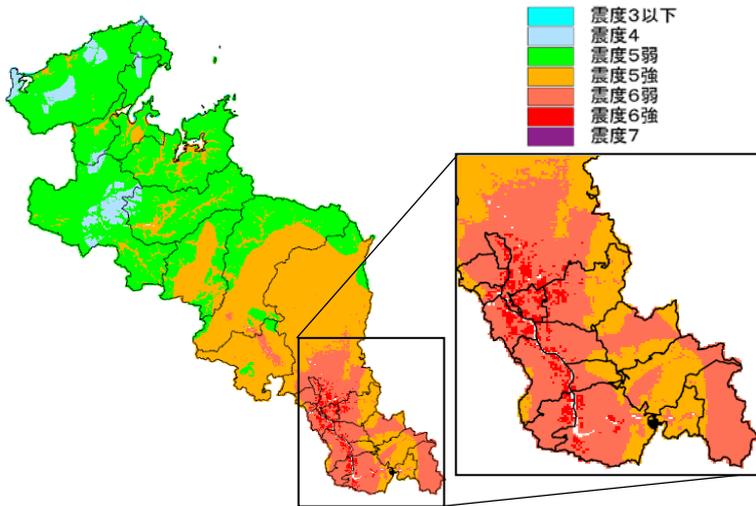
	人的被害				建物被害		
	死者数	負傷者数		要救助者数 (自力脱出困難者数)	全壊	焼失	
		重傷者数					
京都市北区	-	20	-	-	-	-	-
京都市上京区	-	40	-	-	10	10	-
京都市左京区	-	60	-	-	190	190	-
京都市中京区	-	70	-	-	20	20	-
京都市東山区	-	30	-	-	60	60	-
京都市下京区	-	40	-	-	40	40	-
京都市南区	-	100	-	10	100	100	-
京都市右京区	-	110	-	-	30	30	-
京都市伏見区	10	410	20	40	480	480	-
京都市山科区	-	60	-	-	30	30	-
京都市西京区	-	110	-	10	60	60	-
京都市(小計)	20	1,050	30	60	1,020	1,010	10
向日市	-	70	-	10	30	30	-
長岡京市	-	50	-	-	40	40	-
大山崎町	-	10	-	-	10	10	-
宇治市	-	220	10	20	210	210	-
城陽市	-	110	-	10	220	220	-
久御山町	-	40	-	-	60	60	-
八幡市	-	50	-	-	110	110	-
京田辺市	-	60	-	10	120	120	-
井手町	-	20	-	-	20	20	-
宇治田原町	-	-	-	-	-	-	-
木津川市	-	160	10	10	210	210	-
精華町	-	70	-	10	50	50	-
笠置町	-	-	-	-	-	-	-
和束町	-	10	-	-	-	-	-
南山城村	-	-	-	-	-	-	-
山城広域振興局管内	20	890	30	80	1,100	1,090	10
亀岡市	-	20	-	-	20	20	-
南丹市	-	-	-	-	20	20	-
京丹波町	-	-	-	-	-	-	-
南丹広域振興局管内	-	20	-	-	40	40	-
福知山市	-	-	-	-	-	-	-
舞鶴市	-	-	-	-	50	50	-
綾部市	-	-	-	-	-	-	-
中丹広域振興局管内	-	-	-	-	50	50	-
京丹後市	-	-	-	-	-	-	-
宮津市	-	-	-	-	280	280	-
伊根町	-	-	-	-	-	-	-
与謝野町	-	-	-	-	60	60	-
丹後広域振興局管内	-	-	-	-	340	340	-
府計	30	1,970	60	140	2,540	2,520	20

※被害が軽微な地域については「-」を記載。

H24. 8公表値	約30	約2,000		約100	約2,500	約2,500	約20
-----------	-----	--------	--	------	--------	--------	-----

南海トラフ地震(マグニチュード9.0)

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

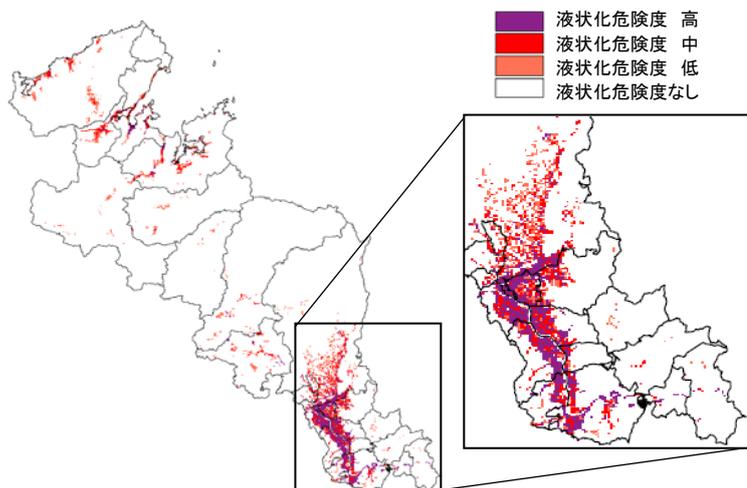


【震度予測結果】(左図・上段)

・震度 6 強は、京都市、宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、精華町の一部に分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

・府南部の木津川沿いで液状化危険度が高い。



京都市内の行政区

被害数量一覧

	人的被害				建物被害	
	死者数 (人)	負傷者数		要救助者数 (人)	全壊 (棟)	焼失建物 (棟)
		(人)	重傷者数 (人)			
京都市	510	8,890	1,750	1,280	7,630	37,080
山城広域振興局管内	340	5,450	900	1,170	6,070	17,380
南丹広域振興局管内	-	240	10	10	130	-
中丹広域振興局管内	-	50	-	-	190	-
丹後広域振興局管内	-	10	-	-	1,740	-
府計	860	14,650	2,660	2,470	15,740	54,470

※端数処理等の計算誤差により、府計及び総括表の数値と一致しないことがあります。

※被害が軽微な地域については「-」を記載しています。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

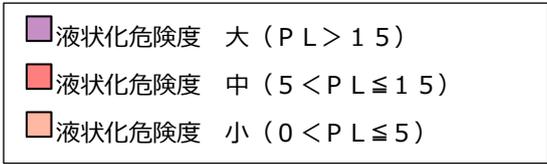
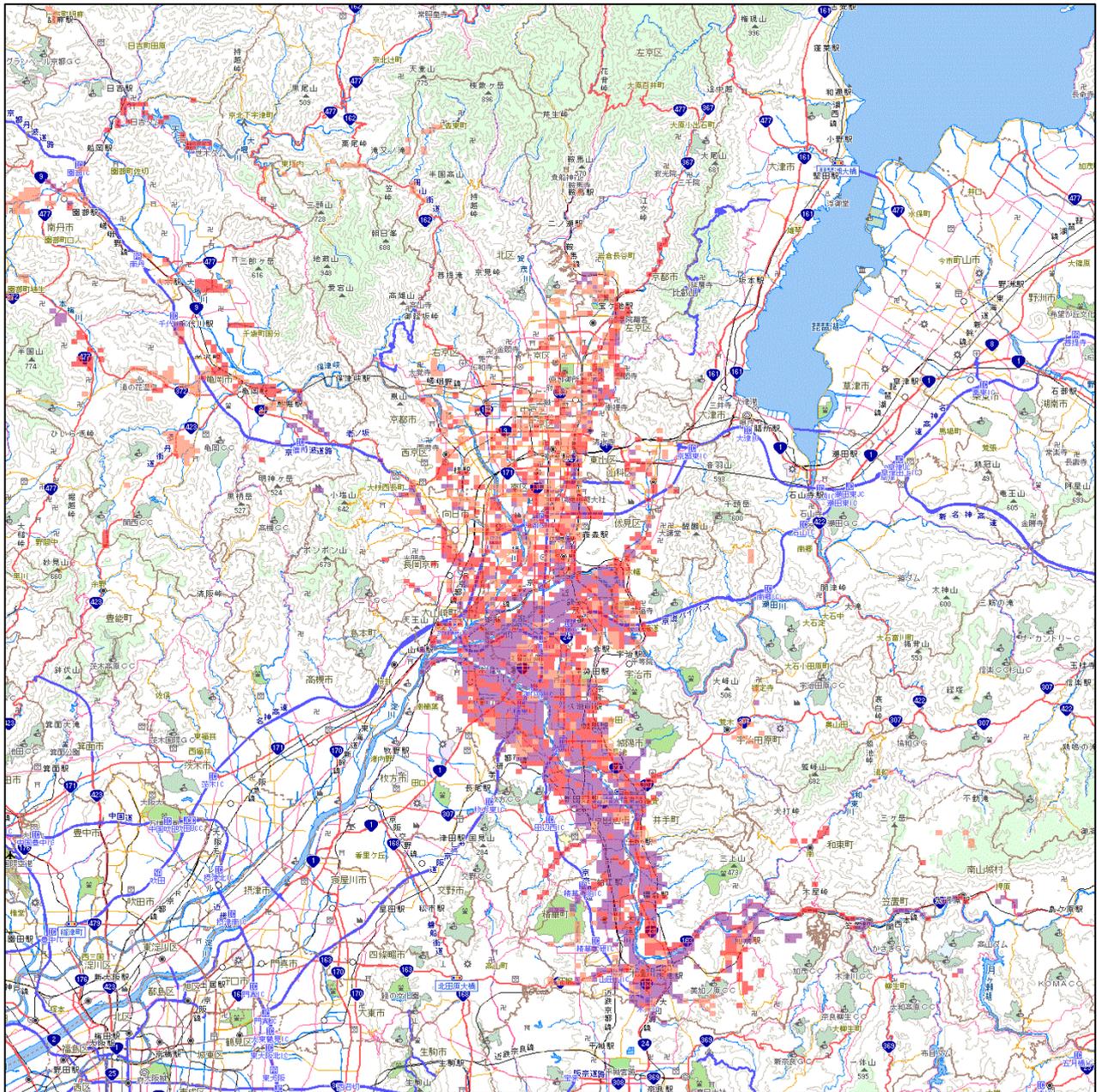
南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

液状化危険度マップ (南海トラフ巨大地震)

※南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ 想定 (2012)



液状化危険度マップ (南海トラフ巨大地震)

※南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ 想定 (2012)

